

日本原子力学会 原子力発電部会
次期軽水炉の技術要件検討 WG フェーズ 2 第 1 回会合
議事録

日時 : 2022 年 2 月 24 日 (木) 13:30～ 15:20
 場所 : Webex 会議 (東京大学工学部 8 号館 2 階 226 大会議室)
 出席者 : 山口主査(東大)、山本幹事(名大)、菅原幹事(関電)、有田幹事(MHI)、
 伊阪委員(関電)、糸井委員(東大)、宇井委員(電中研)、浦田委員(NEL)、黒崎委員(京大)、
 越塚委員(東大)、斉藤委員(東大)、佐治委員(MHI NS エンジ)、菅原委員(関大)、
 杉山委員(JAEA)、鈴木委員(東電)、竹田委員(阪大)、成川委員(JAEA)、東委員(WH)、
 藤木委員(東芝 ESS)、芳原委員(近大)、松浦委員(日立 GE)、三牧委員(MHI)、
 三好委員(原電)、村上委員(東大)、山路委員(早大)
 オブザーバー: 皆川、中谷、増田、小澤(エネ庁)、梅田(MELCO)、兼近(鹿島)、川島(大林組)、
 鈴木(大成)、下間(IHI)、千々松(安藤ハザマ)、柳澤(日揮)、
 田口、竹地、岩田(関電)、水田、高山、倉本(MHI)

(敬称略)

配布資料:

資料 1 - 1 : WG 設立趣旨、全体スケジュール/議題案

資料 1 - 2 : WG で議論する論点の抽出

議事:

1. WG 主査による WG 開催挨拶、幹事/委員の自己紹介

冒頭、山口主査より以下の通り開催挨拶があった。

- ・ フェーズ 1 では、全体最適を図った軽水炉を建設するための準備として次期軽水炉の安全性について技術的な議論を深めてきたが、フェーズ 2 では、次期軽水炉のコンセプトに対する社会的受容性、規制の適合性、安全性と経済性のバランスなどの議論を深めていきたい。また、次期軽水炉は 2030 年代から 2040 年代にかけて運開するプラントであるため、若い人にも委員として加わって頂いたので新しい目でのご発言に期待している。WG 成果が次期軽水炉を社会に受け入れられて信頼されるようなものになるように十分に議論していきたいと考えている。

主査の挨拶に引き続き、幹事及び委員から自己紹介があった。

2. WG 設立趣旨、全体スケジュール/議題案の説明

資料 1 - 1 にて、幹事より次期軽水炉の技術要件検討 WG フェーズ 2 (以下、次期炉 WG フェーズ 2) の設立趣旨、全体スケジュール及び各会合の議題案について説明があった。WG 委員から特にコメントは無く、ご了解された。

3. WG で議論する論点の抽出

資料 1－2 にて、幹事より次期炉 WG フェーズ 2 で議論する論点の抽出について説明があった。WG 委員から多くのコメントを頂いたが、抽出した論点については特に異論は無くご了解頂いた。但し、WG での議論の順番(規制→コンセプト)や論点を抽出するプロセス(詳細な論理展開)に関するコメント対応については幹事団で協議することとした。

4. その他

委員の都合を確認し、第 2 回 WG の日程は以下の通り設定した。

- ・ 2022 年 6 月 2 日(木) 13:30～15:30@東大工学部 8 号館 2 階 226 大会議室

以 上